

ひろい心で助け合う子 がんばって考え、やりぬく子 しっかり体をきたえる子

輝け! 東っ子

金津東小学校だより
令和8年8月28日発行



学校に明るく元気な声が戻ってきました!~前期後半スタート~

40日間の夏休みが明け、27日(木)から前期後半の学校生活が再開しました。全校集会での子どもたちの様子を見ると、日焼けした姿がととてもたくましく感じられました。久々に友達と再会し、うれしさに満ちた表情がたくさん見られ、一人一人が充実した夏休みを過ごしてきたことが伝わってきました。

集会では、夏休み前に私から出した宿題「東っ子全員が元気に登校すること」を確認しました。全児童が元気に顔を揃え、しっかり宿題を達成できたことを嬉しく思い、子どもたちをたくさん褒めました。また、生活リズムを一日も早く学校モードに戻せるよう、【早寝・早起き・朝ごはん】を心がけることを話しました。あわせて、休み明けで不安や心配事がある場合は、先生や友達、お家の人にいつでも相談し、一人で抱え込まないことも伝えていきます。ご家庭におかれましても、お子様の温かい見守りや声かけなど、これまで同様、ご協力をよろしくお願いいたします。

新しい iPad 導入と、子どもたちの「目の健康」を守る取組

9月より、学校に新しい iPad が導入されます。これに伴い、子どもたちの学習効果を高めつつ視力を守るため、文部科学省や日本眼科医会のガイドラインに基づいた「5つの手立て(視力低下防止に向けた取組)」に全校で取り組むことといたしました。

この取組は、夏休み前に保護者の方からいただいた視力低下に関するご不安の声をきっかけにスタートしたものです。まずは「自分ができる工夫から始める」ことを大切に、将来的には子どもたち自身が意識して目を守るようになることを目指しています。画面を見る姿勢や時間など、目の健康を守る取組は、学校と家庭が手を取り合って進めていくことが何より効果的です。次の紙面に具体的な手立てを掲載しておりますので、ぜひお子様と一緒にご覧いただき、「家でできる工夫」や「タブレットを使う時間・ルール」について話し合うきっかけにいただければ幸いです。

ICT は子どもたちの学びを大きく広げる大切な道具です。学校と家庭で協力しながら、子どもたちの健やかな目を守り、安心して学べる環境を整えてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【iPad の使い方と視力を守るための5つの手立て】

※8/27(木)全校集会で、子どもたちに話をしました。

① 目とタブレットは、30cm 以上はなして使う

- ・「目から手首までの長さ(拳3～4個分)」を目安とし、画面を立てて使いましょう。近づきすぎると目に負担がかかります。

② 30 分使ったら、20 秒以上遠くを見る

- ・短い休憩を入れることと、遠くを見ることで、目の疲れを防ぐことができます。

③ 背筋を伸ばして、良い姿勢で使う

- ・「足裏を床につける」「ひじを机に置く」を基本。

- ・姿勢が悪いと視距離が短くなり、視力低下につながりやすくなります。



④ 外で遊ぶ ※暑さ指数(WBGT)を確認したうえで実施(学校)

- ・自然光を浴びることは、近視予防にとっても効果的とされています。

⑤ 寝る 1 時間前は、タブレットを使わない

- ・夜に強い光(ブルーライト)を見ると、ぐっすり眠れなくなります。睡眠の質を守るためにも、就寝前の端末利用はひかえましょう。



輝け! 東っ子

金津東小学校だより
令和8年9月11日発行



笑顔と学びが盛りだくさん!～前期後半スタート～①

前期後半が始まり、約3週間が経ちました。夏休みの疲れも見られましたが、子どもたちはすっかり学校生活のリズムを取り戻し、元気に過ごしています。

先週は校外学習や出前授業など盛りだくさんでしたので、その様子をご紹介します。

【9/3(木) “心の力もち”と“心のばんそうこう”～人権教室で学んだ大切なこと～】

市人権擁護委員と市福祉課の皆様をお招きし、出前授業(2限:低学年(1～3年)/3限:高学年(4～6年))を行いました。

最初に「人権」について、低学年には「命を大切にすること、正しいことをすること、仲良くすること」、高学年には「人間らしく正しく生きようとする権利」と、発達段階に合わせて分かりやすく教えていただきました。

- ・ <低学年> DVD『金太郎 心の力もち』を鑑賞し、「みんなを困らせていたクマはいじわるだったか?」について「なかよし班」で話し合いました。上級生から順番に発表し、1・2年生も自分の思いをしっかりと伝え合いました。授業の最後には、委員さんから「金太郎のように『心の力もち』になってほしい」という温かいメッセージをいただきました。



- ・ <高学年> DVD『自分の胸に手を当てて』(ネット掲示板への書き込みから始まるいじめを題材にした作品)を鑑賞しました。情報マナーを確認した上で、「いじめを受けた人にどんな声をかけたらよいか」を議論。「大丈夫?」「安心してね」「つらかったね」といった優しい言葉がたくさん共有されました。また、人権作文の入賞作品から“心のばんそうこう”という言葉が紹介され、「一人一人が優しい言葉と思いやりという

“心のばんそうこう”を持ち、みんなの痛みを和らげてほしい”とお話をいただきました。

毎年行っている人権教室ですが、今年も、思いやりの心やいじめ防止について深く考える機会となりました。今回学んだ“心の力もち”や“心のばんそうこう”を、これからの学校生活で子どもたちと一緒に実践していきたいと思います。



【9/2(水) 世界に一つだけのお皿が完成！～4年生 わくわくアートスクール～】

4年生が「金津創作の森美術館」を訪れ、陶芸体験(お皿づくり)と美術館見学を行いました。

まずは、お皿づくりです。講師の先生に作り方を丁寧に教えていただきながら作業を進め、全員が思い思いの色や模様を取り入れたオリジナルのお皿を完成させることができました。作品完成後はクラス全員で鑑賞会を行い、「人によって色々な表現や見方があって面白い!」と互いの工夫に感心していました。



お皿づくりの後は、美術館へ徒歩で移動しました。道中では学芸員の方から屋外の展示作品について解説をしていただき、屋外アートの魅力に触れました。館内では企画展「やなせたかし展」を鑑賞しました。ブースごとに学芸員の方の詳しい解説を聞きながら見学したことで、子どもたちは「アンパンマン」以外の様々な作品を知るとともに、やなせさんの作品に込められた強い思いやメッセージを深く学ぶことができました。

今回作製したお皿は、焼き上がりを経て約3か月後に学校へ届く予定です。どんな仕上がりになって戻ってくるのか、今から完成が待ち遠しいです。

